



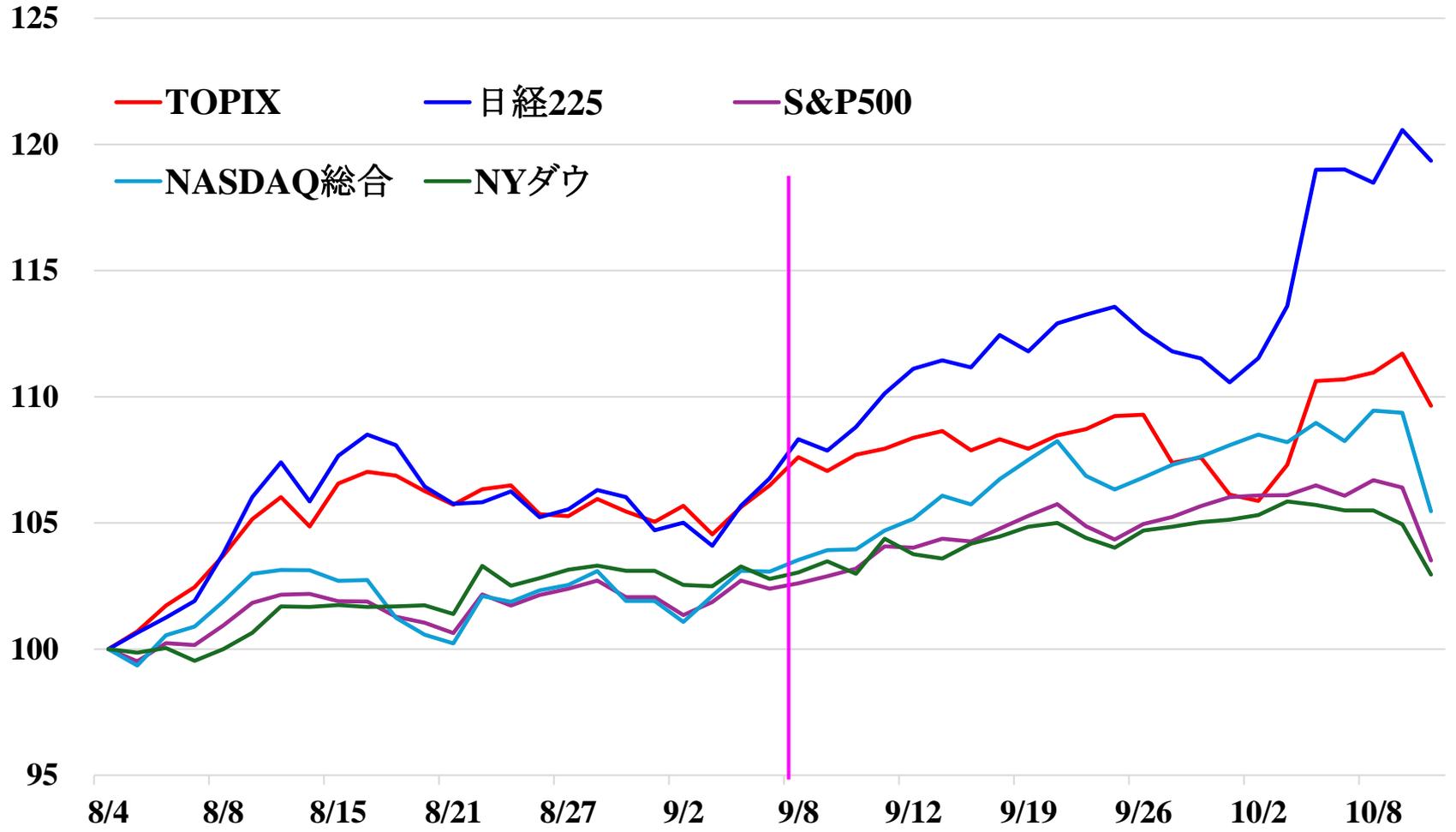
Simplex Institute

# スプレッド戦略

2025年10月15日

# 直近の株式市場

2025年8月4日～10月10日株式市場推移(8月4日終値 = 100)



# 最近のニュース(1)

2025年9月23日17時44分:共同通信配信

高市氏,赤字国債増発を容認,4候補は慎重,財政政策

自民党の高市早苗前経済安全保障担当相は23日の共同記者会見で、財政政策を巡り積極的な成長戦略のためには赤字国債増発を容認する考えを示した。他の4候補は慎重姿勢で温度差が出た。一方、5候補とも首相に就任した場合には速やかに物価高対策を含む経済対策を早期に策定するとした。赤字国債増発に関し、高市氏は物価高対策の財源を税込の上振れ分で賄えない場合には「やむを得ない」と言及した。林芳正官房長官は「原則として慎まなければならない」と話した。小泉進次郎農相は債務残高の対国内総生産(GDP)比率を安定的に引下げることで「財政の信認をしっかりと確保したい」と語った。経済対策について、小林鷹之元経済安保相は「首相就任後速やかに指示を出す」と言明。茂木敏充前幹事長は「早期に総合経済対策を立てて、補正予算を成立させたい」と述べた。社会保障政策では、林氏が低・中所得者への手厚い支援に軸足を置いた。残る4氏は現役世代の負担軽減を訴えた。

# 最近のニュース(2)

2025年10月7日11時14分:共同通信配信

自民, 高市執行部が発足, 麻生・旧茂木派を重用

自民党は7日, 高市早苗総裁の下, 党役員を正式決定し, 新執行部を発足させた。総裁選で高市氏の勝利を後押しした麻生派と旧茂木派の重用が目立つ人事となった。高市氏は公明党の斉藤鉄夫代表と国会内で会談した。斉藤氏は連立合意を巡り, 歴史認識や「政治とカネ」の問題に対する公明内の懸念を伝えた。結論は出ず協議を継続することになった。自公の連立協議が一度で合意に至らないのは極めて異例。

一方, 自民との政策協議を視野に入れる国民民主党の玉木雄一郎代表は記者会見で「自公の関係がどうなるかが分からなければ, われわれのコミットメント(関与)も定まらない」と述べ, 静観する構えを示した。

# 本日のテーマ:スプレッド取引

定義:行使価格の異なるコールまたはプットの売りと買い

目的:相場の方向・変動幅を予想し,それに合わせたポジションで利益を狙う

例1. 11月46000コール 1枚買いと 11月47000コール 1枚売り

例2. 11月46000コール 1枚買いと 11月47500コール 2枚売り

例3. 11月46000プット 1枚売りと 12月46000プット 1枚買い

効用:単なるオプション買いよりは少ない原資で,相場の騰落や時間経過から利益を追求できる

方法:相場の方向観と変動幅を読みコール・プットの別や行使価格を決める

**注)**「スプレッド」とは「差」を意味し,スプレッド取引とは,相場変動の上限と下限の「差」や限月の「時間差」などを読む取引であると言える

# さまざまなスプレッド取引

(1) バーティカル・スプレッド: 同じ限月の行使価格の異なるコールまたはプットの同じ枚数の売りと買い

例1. 11月46000コール 1枚買いと 11月47000コール 1枚売り

(2) レシオ・スプレッド: 同じ限月の行使価格の異なるコールまたはプットの異なる枚数の売りと買い

例2. 11月46000コール 1枚買いと 11月47500コール 2枚売り

(3) カレンダー・スプレッド: 異なる限月の行使価格が同じコールまたはプットの同じ枚数の売りと買い

例3. 11月46000プット 1枚売りと 12月46000プット 1枚買い

**注)** (1)は初級レベル, (3)は中級レベル, (2)はその中間レベルの戦略

# 戦略: バーティカル・スプレッド

定義: 同じ限月の行使価格の異なるコールまたはプットの同じ枚数の  
売りと買い

目的: 「限定的な上昇または下落」から利益を狙う

例: 11月46000コール 1枚買いと 11月47000コール 1枚売り

効用: 単なるオプション買いよりは少ない原資で, 相場上昇または下落時に  
利益を追求できる

方法: 相場の方向観と変動幅によってコール・プットの別や行使価格を  
決定する

# バーティカル・スプレッドの原理と実例

限定的相場変動を予想し、コールまたはプットの同じ枚数のオプションの買いとオプション売りを組み合わせることで、オプションの買いから失うタイム・ディケイ(TD)を緩和しながら相場観を利益に変える

例:2025年9月30日9時ごろ 10月限日経miniは 45,200円前後

自民党総裁に高市氏が選ばれることに賭け、相場が上昇すると予想  
行使価格 46000円のミニコールを **260**円で 1枚買う

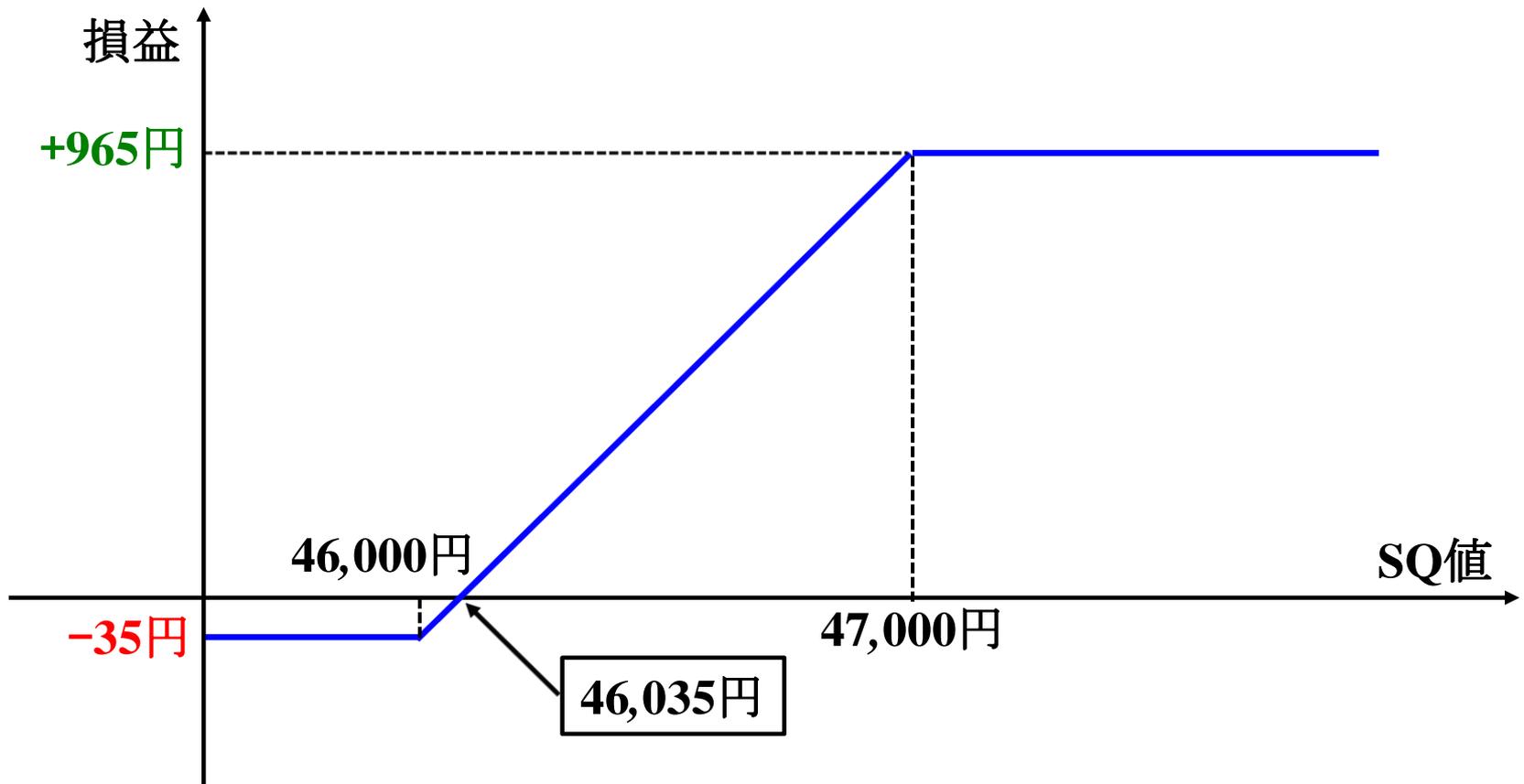
その後に読み通り相場は上昇し、10月3日15時45分ごろに日経miniが  
45,800円を超え、行使価格 47000円のミニコールを **225**円で 1枚売る  
10月10日のSQ値 48,779.14円で決済し、利益は **96,500**円

**注)**「たらればの話」だが、コールの単独買いをSQ決済したら利益は  
**251,914**円となる

# バーティカル・スプレッドのポイント

- (1) オプションの「売り」と「買い」は同時である必要はない  
→ まず「買い」から入り, 利が乗ってから「売り」を立てるとより効果的
- (2) 「買い」の行使価格はやや OTM (現値から 500~1,000円程度)
- (3) 同時に「売り」と「買い」なら行使価格の差は 500~1,000円  
それより狭いと狙う利益幅が狭くなり, それより広いと効果は単独買いと大差ない
- (4) 損失限定 (最大損失は既知) の取引なので, 損切りは急ぐことはないが  
相場観に誤りがあれば撤退
- (5) SQ前の決済も可能なので, 反対売買を常に視野に入れておく

# バーティカル・スプレッドのSQ損益



# 戦略:レシオ・スプレッド

定義:同じ限月の行使価格の異なるコールまたはプットの異なる枚数の  
売りと買い

目的:「より限定的な上昇または下落」から利益を狙う

例:11月46000コール 1枚買いと 11月47500コール 2枚売り

効用:バーティカル・スプレッド戦略で考える「限定的な相場」よりもさらに  
広い範囲での相場の動きを想定することで、バーティカル・スプレッドと  
同程度の収益をねらう(当然,リスクも高まる)

方法:相場の方向観と変動幅によってコール・プットの別,行使価格,「買い」  
と「売り」の枚数を決定する

# レシオ・スプレッドの原理と実例

より広い相場変動を予想し、オプションの買い枚数より多いオプションの売り枚数を組み合わせることで、バーティカル・スプレッドと同程度の利益を狙う

例: 2025年9月30日9時ごろ 10月限日経miniは 45,200円前後

自民党総裁に高市氏が選ばれることに賭け、相場が上昇すると予想  
行使価格 46000円のミニコールを **260**円で 1枚買う

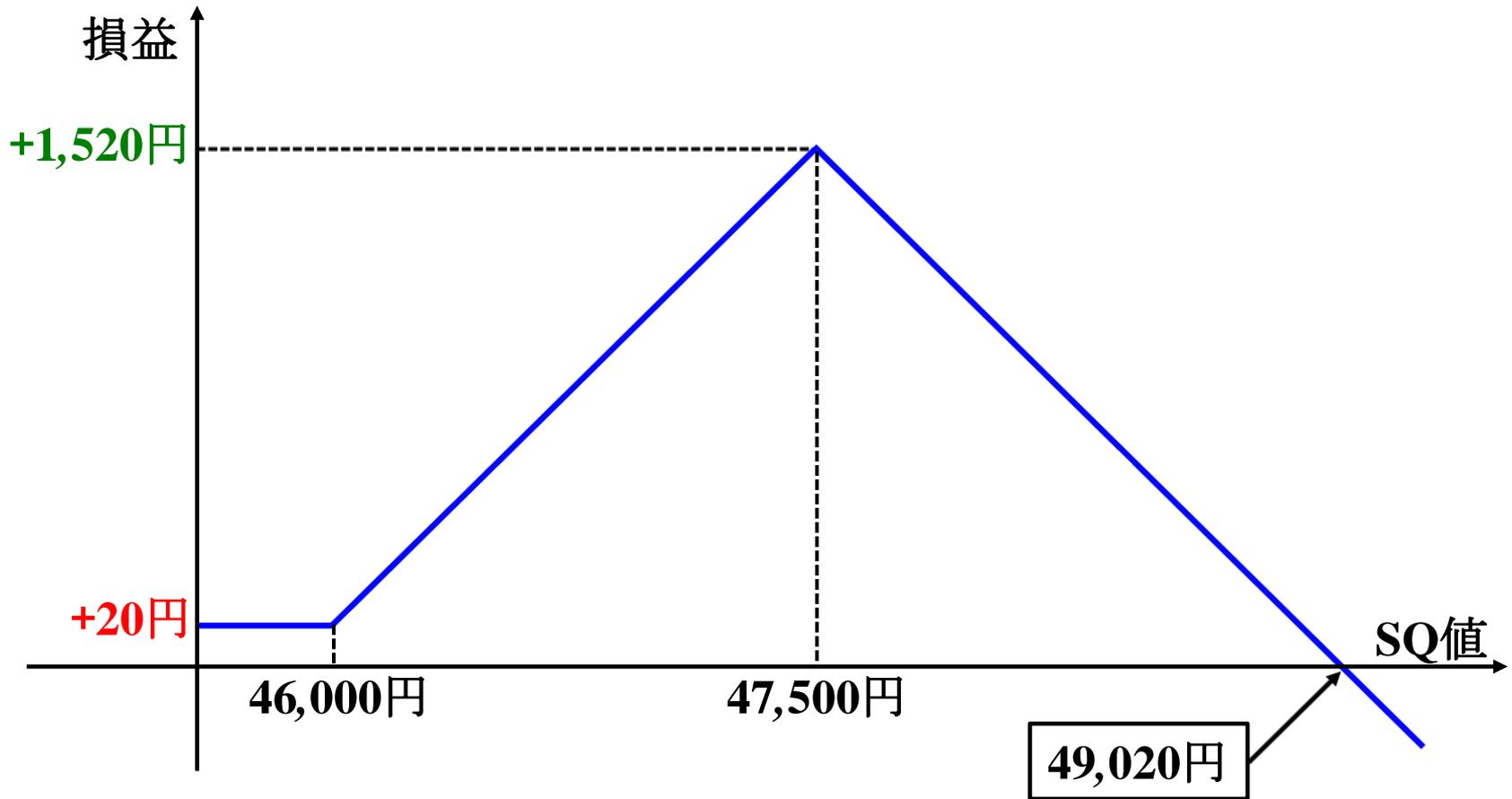
その後に読み通り相場は上昇し、10月3日15時45ごろに日経miniが  
45,800円を超え、行使価格 47500円のミニコールを **140**円で 2枚売る  
10月10日のSQ値 48,779.14円で決済し、利益は **24,086**円

**注)** バーティカル・スプレッドの 25%程度の利益だが、これは 2枚の「コール  
売り」が担がれての損失のため(「売り」のリスクをモロに被った例)

# レシオ・スプレッドのポイント

- (1) オプションの「売り」と「買い」は同時である必要はない  
→ まず「買い」から入り、利が乗ってから「売り」を立てるとより効果的
- (2) 「買い」の行使価格はやや OTM (現値から 500円以内程度)
- (3) 「売り」と「買い」の行使価格の差は 1,000~1,500円  
それより狭いと相場が動いたときのリスクが大きくなり、それより広いと効果は単独買いと大差ない
- (4) 損失限定 (最大損失は既知) の取引ではないで、「売り」の損失が膨らみ始めたら撤退
- (5) SQ前の決済も可能なので、反対売買を常に視野に入れておく

# レシオ・スプレッドのSQ損益



# 参加者アンケート



※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

# 講師プロフィール

伊藤祐輔(いとうゆうすけ)

株式会社シンプレクス・インスティテュート 代表取締役

1976年早稲田大学工学部数学科卒業, 1983年同大学大学院理工学研究科後期課程修了. 偏微分方程式論の研究活動のかたわら数学教育を続け, 1989年ソロモン・ブラザーズ・アジア証券(現シティグループ証券)に入社. 株式部長, 株式デリバティブトレーダーとして約11年間マーケットにかかわる. 1999年インドスエズ・ダブリュ・アイ・カー証券(現クレディ・アグリコル証券)に移りトレーディングデスクの再構築を行い, 2000年(株)シンプレクス・インスティテュート代表取締役就任.

---

## 免責事項

当資料の内容は, 投資判断の参考として投資一般に関する情報提供を目的としたものであり, 投資の勧誘を目的としたものではありません.

投資に関する最終的な決定は, ご自身の判断と責任においてなさるようお願い致します. 株式会社シンプレクス・インスティテュートでは, 当該情報に基づいて被ったいかなる損害についても, 一切の責任を負うものではありません.

**無断転載を禁ず**

当資料の全部, または一部を無断で複写・複製・転載, および磁気・高記録媒体に入力することなどは, 著作権法上の例外を除き禁じられています.

株式会社シンプレクス・インスティテュート

〒105-6223 東京都港区愛宕 2-5-1

愛宕グリーンヒルズMORIタワー23階

URL: <http://www.simplexinst.com>

E-mail: [info@simplexinst.com](mailto:info@simplexinst.com)

## ご注意事項

- 本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客さまが損害を被ったとしても当社、および情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製、または販売等を行うことは固く禁じます。
- 必要証拠金額は当社証拠金(発注済の注文等を加味した証拠金×100%)－ネット・オプション価値(Net Option Value)の総額となります。
- 当社証拠金、およびネット・オプション価値(Net Option Value)の総額は発注・約定ごとに再計算されます。
- 証拠金に対する掛け目は、指数・有価証券価格の変動状況などを考慮のうえ、与信管理の観点から、当社の独自の判断により一律、またはお客さまごとに変更することがあります。
- 「HYPER先物コース」選択時の取引における建玉保有期限は原則新規建てしたセッションに限定されます。なお、各種設定においてセッション跨ぎ設定を「あり」とした場合には、プレクロージング開始時点の証拠金維持率(お客さま毎の証拠金掛目およびロスカット率設定に関わらず必要証拠金額は証拠金×100%で計算)が100%を上回っていれば、翌セッションに建玉を持ち越せます。「HYPER先物コース」選択時は必要証拠金額は証拠金×50%～90%の範囲で任意に設定が可能であり、また、自動的に決済を行う「ロスカット」機能が働く取引となります。
- 先物・オプションの証拠金については日本証券クリアリング機構のWEBサイトをご覧ください。
- 指数先物の価格は、対象とする指数の変動等により上下しますので、これにより損失を被ることがあります。市場価格が予想とは反対の方向に変化したときには、比較的短期間のうちに証拠金の大部分、またはそのすべてを失うこともあります。その損失は証拠金の額だけに限定されません。また、指数先物取引は、少額の証拠金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失を被る危険性を有しています。
- 日経平均VI先物取引は、一般的な先物取引のリスクに加え、以下のような日経平均VIの変動の特性上、日経平均VI先物取引の売方には特有のリスクが存在し、その損失は株価指数先物取引と比較して非常に大きくなる可能性があります。資産・経験が十分でないお客さまが日経平均VI先物取引を行う際には、売建てを避けてください。

## ご注意事項

- 日経平均VIは、相場の下落時に急上昇するという特徴があります。
- 日経平均VIは、急上昇した後に数値が一定のレンジ(20~30程度)に回帰するという特徴を持っています。  
日経平均VIは、短期間で急激に数値が変動するため、リアルタイムで価格情報を入手できない環境での取引は推奨されません。
- 指数オプションの価格は、対象とする指数の変動等により上下しますので、これにより損失を被ることがあります。なお、オプションを行使できる期間には制限がありますので留意が必要です。買方が期日までに権利行使又は転売を行わない場合には、権利は消滅します。この場合、買方は投資資金の全額を失うこととなります。売方は、市場価格が予想とは反対の方向に変化したときの損失が限定されていません。また、指数オプション取引は、市場価格が現実の指数に応じて変動しますので、その変動率は現実の指数に比べて大きくなる傾向があり、場合によっては大きな損失を被る危険性を有しています。
- 未成年口座のお客さまは先物・オプション取引口座の開設は受付いたしておりません。
- 「J-NETクロス取引」で取引所立会市場の最良気配と同値でマッチングする場合、本サービスをご利用いただくお客さまには金銭的利益は生じないものの、SBI証券は委託手数料を機関投資家から受け取ります。
- J-NETクロス取引の詳細は適宜修正される可能性がありますのでご注意ください。

## 金融商品取引法等に係る表示

本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。これらの商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)、店頭CFD取引(SBI CFD)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。商品毎に手数料等及びリスクは異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

### 金融商品取引法等に係る表示

[https://search.sbise.co.jp/v2/popwin/info/home/pop6040\\_torihikihou.html](https://search.sbise.co.jp/v2/popwin/info/home/pop6040_torihikihou.html)

商号等:株式会社SBI証券 (金融商品取引業者、商品先物取引業者)

登録番号:関東財務局長(金商)第44号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 日本STO協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会